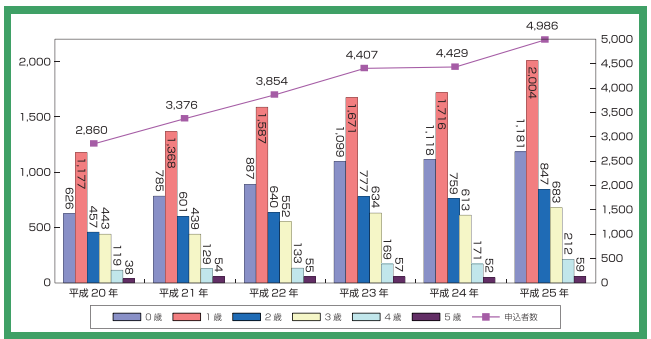
保育サービス待機児童の状況と対策について



認可保育園の入園申込の状況（各年４月選考）

世田谷区では、急速に増加する保育園入園申込みに対する緊急対策として、平成２５年６月までに定員３００人拡充。さらに平成２６年４月までに定員１０００人拡充、合わせて１３００人の定員拡充を行います。
これからも社会情勢を注視しつつ保育サービスの対策に取り組まなければなりません。区民の方からも色々なご意見を頂いておりますが、これからは区内の未利用の国有地活用や空き家・空き室などの利用、さらに小規模の認証保育・グループ保育などの取り組み等をさらに進めることも検討していく必要があると思います。

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
子ども計画整備目標	10, 294	⇒		12, 643	13, 443	14, 140
保育サービス施設定員	9, 963	11, 265	11, 938	12, 985	13, 985	子ども計画に上乗せを予定
前年比定員増	—	1, 302	673	1, 047	1, 000	—
【参考】待機児童数(国基準)	725	688	786	—	—	—

子ども計画後期計画における整備目標量と施設定員数の見通し（各年4月1日現在）

高齢者の見守り対策について

災害時要援護者支援制度の充実と平常時の見守りについても合わせて考えていく必要があります。この制度は、災害発生時にあらかじめ登録されている、高齢者だけで暮らす世帯の安否を確認したり、避難が必要になった時、避難所への誘導などをお手伝いする制度ですが、日頃から近所同士のお付き合いの中で気軽に声を掛け合えるような関係づくりを見直すことも大切です。

災害に強い 福祉文化都市せたがや をめざして

世田谷区平成２５年度当初予算の７つの重点分野が示されました。今年度も和田ひでとしは、地域、地区の課題にしっかりと取り組んでまいります。

安全・安心
- 災害対策本部機能の強化
- 災害時情報連絡手段の強化
- 地域の防犯カメラ、ＡＥＤ

子育て支援
- 保育サービス拡充に向けた
- 私立認可保育園、認証保育所等の拡充
- 病児、病後児保育の拡充

福祉・保健の充実
- 高齢者見守り施策の推進
- 認知症高齢者グループホーム、都市型軽費老人、ホーム等の整備助成
- 障害者グループホームの整備助成

環境施策の推進と世田谷みどり３３
- 太陽光発電事業
- 民有地の緑化
- 公園、緑地の整備

地域の活性化と文化都市
- 緊急雇用対策
- 地域の絆推進事業
- スポーツ祭東京２０１３の開催

都市基盤の整備
- 災害に強い都市基盤の整備
- 二子玉川東地区市街地再開発
- 安全な歩道づくり

世田谷の教育の推進
- 世田谷９年教育の推進
- 特別支援教育の充実
- いじめ等防止対策



世田谷区議会議員

和田ひでとし通信 第六号

ごあいさつ

平成二十五年度がスタートし、和田ひでとしは区議会議員として、一期目の折り返し点となりました。この二年間、議会での仕事、地域での活動、そして家の商売も細々と続けながら、あわただしくも充実した毎日でした。世田谷区は新年度、新たな地域行政制度を目指して、「地区力の向上と地区防災対策の強化」をめざしていきます。これからは、ますます地域の絆づくりが大切になってきます。つねに「区民目線」を忘れず、より住みやすいまちづくりをめざして、しっかり働いてまいります。

2013年5月 発行
世田谷区議会議員　和田 秀壽
〒158-0083
東京都世田谷区奥沢 1-40-2
電話 03-3720-3542
FAX 03-3720-6928

仕事場見学に来てくれました



畳の仕事をしながら私の話を子どもたちは真剣に聞いてくれました

小学校６年生の総合学習の「自分の未来を考えよう」の授業で私の仕事場「和田工房」を見学にきてくれました。今年も５名の６年生が来てくれ、私からは畳の仕事を通じて、仕事の大変さや、やりがいなどを話してみました。

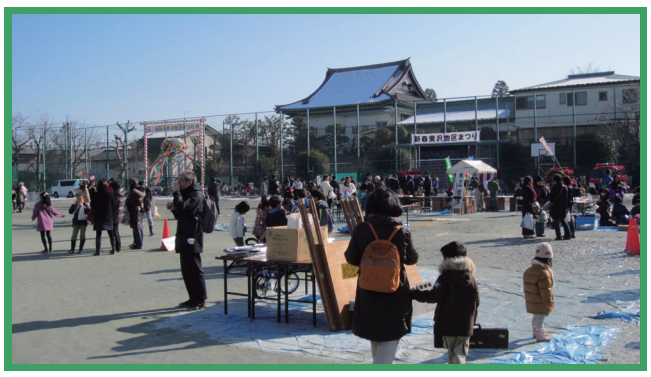
緑が丘駅が新しくなりました



改装オープンイベントは区を超えて目黒区・世田谷区の町会商店会の皆さん、そして東急電鉄の協力で盛大に行われました

区界にある緑ヶ丘駅が５年間の工事を終えて、ようやくバリアフリーの駅に生まれ変わりました。小さな駅ですが、目黒区緑が丘と世田谷区奥沢、さらに大田区石川町の皆さんも利用する駅からは新たな地域の繋がりができそうです。

新春奥沢地区まつり



私たちの地区の一大イベント「新春奥沢地区まつり」が今年も１月２０日（日）に開催されました。新たな地域行政制度の取り組みにあります、「地区力の向上と地区防災対策の強化」には、このような地域行事への参画がとても大切になると思います。
まちづくりセンターが事務局となって、地区の学校・町会・商店会・ＰＴＡ・各団体が連携して自分たちでつくりあげるこの行事は、今回で３１回目となりました。私も事務局の一員としてかかわらせていただいてますが、毎回いろいろな方たちの大きな協力に支えられて、この行事は続いています。まさに地区力そのものです。

小田急線地下化運行開始



完成間近の小田急線下北沢駅の視察をする区議団

工事中でした小田急線東北沢駅～梅ヶ丘駅間が３月２３日地下化され、この間の踏切がすべてなくなりました。長年の踏切問題は解消されましたが、下北沢駅の地下化に伴い、乗換時間が今までより多くなり、利用客が慣れるまで少し時間がかかるようです。

区立二子玉川公園 開園



日本庭園「帰真園」の前で行われたテープカット

４月１４日の開園式に参加し公園内を見学しましたが、緑と水の日本庭園や富士山や丹沢の山並みまで望める高台、また災害発生時に防災機能を兼ね備えた公園としてオープンしました。
計画のまだ約半分ですが、上野毛・二子玉川両駅より徒歩８分ほどで来ることが出来るこの公園は、新たな区民の憩いの場としてお勧めです。天気の良い時にぜひ家族やグループで出かけてみてください。

今後の予定

※詳しくは区のお知らせ または和田ひでとし迄

５月 14 日 ～ 20 日	第１回世田谷区議会臨時会
５月 25 日 ～ 26 日	奥沢駅前音楽祭
６月　４日 ～ 13 日	第２回世田谷区議会定例会
６月 27 日	和田ひでとし区政報告会「初夏のつどい」
８月　３日 ～　４日	世田谷区民まつり

インターネットで「和田ひでとし」と検索してください！
和田ひでとし　検索

あなたのご意見をお聞かせください！
info@wadahidetoshi.com

一般質問
「地区力の向上と地区防災対策の強化」

平成２５年度からスタートしました＜地区力の向上と地区防災対策の強化＞の取り組みについて質問しました。特にネットワーク強化や地区情報連絡会は気になるところですし、新しい人材発掘も必要です。



奥沢区民センターで開かれた防災講演会

【和田】世田谷区は、これからますます高齢化時代に向かう中、安心して暮らせるまちづくりを進めていかなければなりません。そのためには、地区力の向上はとても重要な課題であります。今回、「新たな地域行政制度の展開に向けて」として、地区力の向上と地区防災対策の強化が報告されました。区民の生活に直結している出張所・まちづくりセンターの体制整備は言うまでもないことです。

そこで、地区防災対策強化の観点からの職員体制充実について、改めて伺います。

【地域行政担当部長】地域行政について御答弁申し上げます。平成２５年度に向けての地域行政の見直しにつきましては、地区防災対策の強化から、出張所・まちづくりセンターの体制整備として、まちづくり担当係長という組織名称をまちづくり防災担当係長と変更するとともに、地区の避難所の数等に応じまして、職員の増員を図ることといたしました。

【和田】次に、今回の報告の中に地区力の向上に向けたネットワークの強化とあり、総合的な情報交換の場として地区情報連絡会の開催とあります。この地区情報連絡会の開催で何を目指すのか、区の見解を伺います。

【地域行政担当部長】地区情報連絡会は、出張所・まちづくりセンターが事務局として、これまで高齢者見守りネットワークや地区包括ケア会議を母体としたネットワーク活動などで連携の実績のある、各地区のあんしんすこやかセンターや地区社会福祉協議会と連携を図りながら取り組むことを想定しております。

【和田】これからの地区力の向上には新しい人材の発掘はとても重要なことであると思います。そのためには、例えばＰＴＡやおやじの会、商店街であったり、あるいは企業の第一線を退いたばかりの方など、さまざまな分野で考えられると思います。この新しい人材の発掘には特に力を入れていくべきと考えますが、いかがでしょうか。

【地域行政担当部長】新たな人材発掘につきましても大変重要な課題であると認識しており、地区の活動団体をつなぎ、また、これまで地域活動にかかわっていなかった人にも参加いただけるよう、五総合支所を初め庁内においても取り組み事例などの情報を共有し、着実に取り組んでまいります。

予算特別委員会
「ユニバーサルデザインのまちづくりの取り組み」

高齢化がますます進む中、高齢者が出かけやすい環境づくりは不可欠です。気軽に散歩や、買い物、近所の集会施設などで行われるサークル活動などへ積極的に出かけていけるようなまちづくりを考えていきます。


おひなさまを飾って一人暮らしの高齢者昼食会

【和田】誰もが安心して出かけることができるまちづくりは、これからの高齢化時代に向けてとても大切なことだと思います。また、特に介護予防の面からも、家に閉じこもりがちな高齢者が町へ出かけやすい環境づくりを進めていかなければなりません。

世田谷区のユニバーサルデザインのまちづくりに２５年度重点項目として、誰でも使えるトイレとベンチ等の休憩施設のネットワーク整備とありました。これは高齢者の方のトイレの心配だけでなく、小さな子ども連れの方にとっても大切な取り組みではないでしょうか。

そこでまず、このトイレやベンチの商店街での提供について、区ではどのような取り組みを行っているのか伺います。

【商業課長】高齢者や障害のある方、また、お子さんと一緒に商店街を訪れる方々が安全に安心して出かけることができる商店街であるようユニバーサルデザインに配慮した取り組みが重要であると認識しております。

予算特別委員会
「スポーツ祭東京２０１３」

東京での国体開催は５４年ぶり、全国障害者スポーツ大会は初めてということです。世田谷も会場の一部になるということで、大会へ向けての準備状況など質問しました。

【和田】スポーツ祭東京２０１３は、第６８回国民体育大会と第１３回全国障害者スポーツ大会を一つの祭典として実施されるものと聞いております。

世田谷区内では、国体ではテニスとソフトテニスの会場、全国障害者スポーツ大会では卓球、サウンドテーブルテニス、フライングディスクの会場となっており、関係者の方々は準備に邁進しているものと思っております。本番の大会を盛り上げるには、一般区民にも大勢の方に来場いただき、盛り上がりの中で全国から集う選手に声援を送っていただくことがとても大切なことと考えます。

そのために、どのようなＰＲ活動を行い区民への大会の周知を図ってきたのか伺います。

【国体・障害者スポーツ大会推進担当課長】スポーツ祭東京２０１３の成功は、区を挙げた開催機運の盛り上がり、とりわけ区民とともに歓迎機運を高めていくことが重要であると認識しております。「区のおしらせ」やホームページを活用した広告、また、ホームページにおけるＰＲなどさまざまな手段による広報を展開しているところです。

今後とも、オリンピック、パラリンピック東京招致活動との連携など、あらゆる機会を活用いたしまして、スポーツ祭東京２０１３の知名度アップと開催機運の醸成に取り組んでまいります。



幼稚園でメダリストと園児たちによるオリンピック招致活動

【和田】次に、この大会では全国から多くの選手、監督を初め関係者、応援団が世田谷区に来られるものと思いますが、来場された方々に来てよかったと満足していただき、また、世田谷のよさをＰＲする意味でおもてなしはとても重要なことだと思います。

そこで伺いますが、全国から来る方々をどのように歓迎しようとしているのか、お聞かせください。

【国体・障害者スポーツ大会推進担当課長】本大会の開催に当たりましては、区内全域の商店街における歓迎バナーの一斉掲出や、最寄り駅から会場までのプレミアムつき徒歩マップの発行、区立小中学校の協力による歓迎のぼり旗や歓迎プランターの製作などの取り組みをさらに進めるとともに、産業団体の協力による「世田谷みやげ」のふるまいやボーイスカウト、ガールスカウトによるもてなし、さらには区民団体による歓迎アトラクションなど、幅広い層との連携により歓迎機運を盛り上げていく予定です。また、総合型地域スポーツクラブとの協働や区内の障害者団体との連携、区内の大学や企業からのボランティアの申し込みもいただいており、区を挙げた歓迎機運が盛り上がってきています。

今後とも、各方面との協力、連携を推し進め、世田谷らしい歓迎、おもてなしを実現できるようさらに検討を進め、取り組んでまいります。

予算特別委員会
「子どもたちの心を育む道徳教育について」

いじめの問題がクローズアップされていますが、いじめ問題の解決には、命の尊さ、規範意識、責任感、思いやりの心など、人間性の構築が重要です。
新政権の教育施策発表を受けて、質問しました。

【和田】政府の教育再生実行委員会の第一次提言では、いじめの問題等への対応として、道徳の教科化が示されました。いじめの問題解決には、命のとうとさ、規範意識、責任感といった人間性の構築が重要で、国語や算数など、他の教科と違って成績評価が難しいことから、道徳の特性を踏まえ、新たな枠組みで教科化するとしています。実際に道徳が教科化されるには、今後中央教育審議会などでの議論が必要となりますが、子どもたちの心を育む道徳教育をより一層充実させることはとても重要であると思います。

世田谷区では、これまでも道徳教育の充実に取り組んできたと思いますが、改めて区立小中学校の道徳教育の現状について伺います。

【教育指導課長】子どもたちに基本的な生活習慣ですとか規範意識、思いやりの心などを養い、法や決まりを守り、主体的に判断し、適切に行動できる人を育てていくというために道徳教育を推進していくことは大変重要だというふうに考えております。

各学校では週に一時間道徳の授業を設定しておりまして、副読本などを活用しながら、例えば、相手を思いやり進んで親切にすることですとか、生命のとうとさを感じとり、生命のあるものを大切にすること、約束や決まりを守り、社会の一員としての自覚や責任を持つことなどについて指導を行っております。また、教職員は、日々の授業や子どもたちとのさまざまなかかわりの中においても正しいと判断したことは勇気を持って行うということですとか、自分を支えてくれている人に感謝の気持ちを持って接することなどを指導しております。

【和田】今回の道徳の教科化は、先生が自覚と責任を持って、また、地域や保護者と一緒になって、子どもたちの心をしっかり育むことを求めているのではないかと思います。

そこで、今後世田谷区では、どのように道徳教育を充実させていくのか伺います。

【教育指導課長】道徳教育の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御理解というのも非常に重要でございますので、道徳の授業を広く公開し、また、その後保護者や地域の方々と子どもたちの道徳性の育成について意見交換を行う道徳授業の地区公開講座というようなものも推進しているところでございます。

国において、道徳についてさまざまな議論が行われているところでございますけれども、そういう動向に注視をしつつ、世田谷九年教育の推進を通しながら、道徳教育の一層の充実を図っていきたいというふうに考えております。